

◀世界債券型▶

運用実績 (2021年3月末日現在)					
	騰落率 (%) (注2)	1年	3年	5年	設定来
		2.90	4.78	4.01	65.46
(注) 運用開始日は1999年4月1日。					
運用方針	主に国内外の公社債に分散投資することにより、中長期的な成長を目指します。基本資産配分は国内公社債50%、海外公社債50%とします。海外公社債の投資部分に対し、原則として、為替ヘッジは行いません。NOMURA-BPI (総合)50%、FTSE 世界国債インデックス (除く日本)50% で加重平均した複合指数を上回る投資効果を目指します。				
運用経過および今後の運用方針	当勘定では、上記基本資産配分を概ね維持しながら、当社が選定した内外の公社債を主要投資対象とする投資信託を組み合わせた運用を行いました。当該期間中、投資信託の投資比率は概ね高位を維持しました。今後も、引き続き複数の投資信託を組み合わせた運用を行う方針ですが、組入れ投資信託については継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行う方針です。				
組入れ投資信託 (2021年3月末日現在)	RIC Russell Investments Global Bond Fund Class A ^{*2} ラッセル・インベストメント日本債券ファンドI-1 (適格機関投資家限定) ^{*1} グローバル・ボンド・ファンドVA (適格機関投資家専用) ^{*1}				

◀金融市場型▶ (注6)

運用実績 (2021年3月末日現在)					
	騰落率 (%) (注2)	1年	3年	5年	設定来
		△0.17	△0.49	△0.82	108.60
(注) 運用開始日は1986年12月1日。					
運用方針	主に国内の公社債および短期金融商品に分散投資することにより、中長期的に安定した成長を目指します。NOMURA-BPI (総合短期) を上回る投資成果を目指します。				
運用経過および今後の運用方針	当勘定では、当社が選定した国内の公社債を主要投資対象とする投資信託を組み合わせた運用を行いました。当該期間中、投資信託の投資比率は概ね高位を維持しました。今後も、組入れ投資信託については継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行う方針です。				
組入れ投資信託 (2021年3月末日現在)	フィデリティ・マネー・プール VA (適格機関投資家専用) ^{*1}				

◀グローバル・バランス型▶ (注1)

運用実績 (2021年3月末日現在)					
	騰落率 (%) (注2)	1年	3年	5年	設定来
		30.13	32.65	52.39	173.98
(注) 運用開始日は2001年5月1日。					
運用方針	主に世界各国の株式および公社債に分散投資することにより、中長期的な成長を目指します。基本資産配分は国内外株式50%、国内外公社債50%とします。基本的には為替ヘッジは行いません。ただし、市況動向等を勘案して、為替ヘッジを行うことがあります。(為替変動リスクがあります。) MSCI WORLD インデックス50%、FTSE 世界国債インデックス50% で加重平均した複合指数を上回る投資成果を目指します。				
運用経過および今後の運用方針	当勘定では、上記基本資産配分を概ね維持しながら、当社が選定した世界各国の株式および公社債を主要投資対象とする投資信託を組み合わせた運用を行いました。当該期間中、投資信託の投資比率は概ね高位を維持しました。今後も、引き続き複数の投資信託を組み合わせた運用を行う方針ですが、組入れ投資信託については継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行う方針です。				
組入れ投資信託 (2021年3月末日現在)	(グローバル債券運用) Architas World ex-Japan Passive Bond Fund Class J ^{*2} グローバル・ボンド・ファンドVA (適格機関投資家専用) ^{*1} (グローバル株式運用) RICII Russell Investments World Equity Fund Class B ^{*2} 、グローバル成長株ファンド ^{*1}				

^{*1}は私募投信です。

^{*2}は外国籍投資信託 (海外で設定・運用されている投資信託) です。

(注1) 特別勘定における運用収益の向上、また運用報酬の引下げを図ることを目的に、以下の通り投資信託の入替を行います。

(2021年1月中)

米国株式型特別勘定

「RIC Russell Investments U.S. Equity Fund Class A」 「米国株式インデックスファンド VA (適格機関投資家向け)」 から「Selection US Equity Class I」へ変更。

(2021年3月中)

グローバル・バランス型特別勘定

「RIC Russell Investments Global Bond Fund Class A」 から「Architas World ex-Japan Passive Bond Fund Class J」へ変更。

(2021年4月～5月中)

日本株式型特別勘定

「ラッセル・インベストメント日本株式ファンドI-3 (適格機関投資家限定)」 「アムンディ・タワー・ゲット・ジャパン・ファンド (適格機関投資家専用)」 から「Selection Japan Equity Class I」へ変更。

(注2) 騰落率は、当月末における、上記各期間のユニットプライスの変動率を表しています。

(注3) マルチ・マネージャー運用：複数の運用会社を組み合わせた運用をいいます。

(注4) パリュウ・スタイル：割安株を中心に投資する運用スタイルをいいます。

(注5) グロース・スタイル：成長株を中心に投資する運用スタイルをいいます。

(注6) 「金融市場型」は株価、債券価格、為替等の変動の影響を受ける可能性が低いことを想定した特別勘定です。ただし、低金利環境下 (マイナス金利を含む) では、「金融市場型」の積立金の増加が期待できないだけでなく、諸費用の控除等により積立金が減少することもありますのでご注意ください。

【お知らせ】「特別勘定の運用実績案内」に同封の「特別勘定の運用概況」の送付は前回をもって終了いたしました。

運用状況は本紙または当社ホームページ (<https://www.axa.co.jp/customer/variable>) にてご確認ください。

運用状況は
こちら



アクサ生命保険株式会社

変額保険『リバティ (終身型)』『リバティ (有期型)』、ユニット・リンク保険 (有期型) 2020年度 特別勘定決算のお知らせ

1. 運用環境 (2020年4月～2021年3月)

【日本株式市場】

日本株式市場は上昇しました。年度末の東証株価指数 (TOPIX) は前年度末比+39.27% の1,954.00ポイント (前年度末1,403.04ポイント) となりました。年度の前半は、新型コロナウイルス感染拡大に歯止めがかかり経済活動が正常化することへの期待感などを受けて上昇しました。年度の後半も、新型コロナウイルス向けワクチン実用化により経済活動が正常化することへの期待感などを背景に上昇しました。中でも、11月には米大統領選の影響による米国株高などを背景に上昇しました。年度末にかけては、米追加経済対策法案の成立などを受けて上昇し、高値圏で引けました。

【外国株式市場】

米国株式市場は上昇しました。年度末の NY ダウ工業株30種は前年度末比+50.48% の32,981.55ドル (前年度末21,917.16ドル) となりました。年度の前半は、新型コロナウイルス感染拡大に歯止めがかかり経済活動が正常化することへの期待感などを受けて上昇しました。年度の後半も、新型コロナウイルス向けワクチン実用化により経済活動が正常化することへの期待感などを背景に上昇しました。中でも、11月には米大統領選で民主党のバイデン前副大統領が勝利する見込みとなるも、同時にねじれ議院が発生するとの思惑が広がりバイデン前副大統領による増税案が回避されるとの見方などを受けて上昇しました。年度末にかけては、米追加経済対策法案が成立したことなどを背景に上昇し、高値圏で引けました。欧州株式市場は、年度の前半は、新型コロナウイルス感染拡大に歯止めがかかり経済活動が正常化することへの期待感などを背景に上昇しました。年度の後半も、新型コロナウイルス向けワクチン実用化により経済活動が正常化することへの期待感などを背景に上昇しました。中でも、11月には米大統領選の影響による米国株高などをを受けて上昇しました。年度末にかけては、米追加経済対策法案が成立したことなどを背景に上昇し、高値圏で引けました。市場別の年間の騰落率は、独 DAX 指数+51.05%、仏 CAC40指数+38.01%となりました。

【日本債券市場】

日本債券市場は、10年国債の金利が上昇 (価格は下落) し、年度末には0.095% (前年度末0.022%) となりました。年度の前半は、日銀が国債の購入に制限を設けないなどの金融政策の方針を決定したことを受けて金利は一時-0.052% まで低下 (価格は上昇) しましたが、その後は低下幅を縮め、ほぼ横ばいで推移しました。年度の後半は、横ばいで推移した後、日銀が長期金利の上昇を容認するとの思惑が台頭したことや、米長期金利の上昇などを受けて金利は一時0.181% まで上昇しましたが、日銀が長期金利の変動幅拡大を必要とは考えないとの見方を示したことを受けて上昇幅を縮めました。前年度末比では、金利は上昇しました。

【外国債券市場】

米国債券市場は、10年国債の金利が上昇 (価格は下落) し、年度末には1.740% (前年度末0.670%) となりました。年度の前半は、金利は上昇基調で推移した後、米国における新型コロナウイルスの感染再拡大などを背景に一時的に0.502% まで低下 (価格は上昇) しましたが、新型コロナウイルス感染拡大に歯止めがかかり経済活動が正常化することへの期待感などを背景に上昇に転じました。年度の後半は、新型コロナウイルス向けワクチン実用化により経済活動が正常化することへの期待感などを背景に金利は上昇しました。年度末にかけても、米追加経済対策法案の成立や、FRB (連邦準備制度理事会) が今年の経済成長率と物価見通しを引き上げたことを受けて金利は上昇して引けました。年度中に、FRB による FF (フェデラル・ファンド) 金利の誘導目標の変更はなく、年間を通して年0.000～0.250% でした。

欧州債券市場は、独10年国債の金利が上昇し、年度末には-0.292% (前年度末-0.471%) となりました。年度の前半は、新型コロナウイルス感染拡大に歯止めがかかり経済活動が正常化することへの期待感などを受けて金利は一時上昇する場面もありましたが、欧州での新型コロナウイルス感染再拡大などを背景に低下しました。年度の後半は、新型コロナウイルス感染再拡大に伴う欧州主要国での行動制限措置強化などを受けて金利は低下し、11月には一時-0.670% を付けました。しかしその後は、米長期金利の上昇や、米追加経済対策法案成立への期待感などを受けて金利は上昇して引けました。

【外国為替市場】

米ドル / 円相場は、円安米ドル高となり、年度末には110.71円 (前年度末108.83円) となりました。年度の前半は、新型コロナウイルスの感染拡大や米追加経済対策の不透明感などを背景に円高米ドル安基調で推移しました。年度の後半は、欧米での新型コロナウイルス感染者数増加や、新型コロナウイルス感染再拡大に伴う欧州主要国での行動制限措置の実施による景気悪化への懸念などを受けて円高米ドル安が進み、1月には102.68円を付けました。その後は、米追加経済対策法案の成立や世界的な経済正常化への期待感などによる米長期金利の上昇などを背景に急速に円安米ドル高が進みました。

ユーロ / 円相場は、円安ユーロ高となり、年度末には129.80円 (前年度末119.55円) となりました。年度の前半は、新型コロナウイルス感染拡大に歯止めがかかり経済活動が正常化することへの期待感や ECB (欧州中央銀行) が追加金融緩和を決定したことなどを背景に円安ユーロ高が進みました。年度の後半も、円安ユーロ高基調で推移し、年度末にかけては、ECB 前総裁のドラギ氏がイタリア首相候補指名を受諾したことによるワクチン接種加速と財政健全化期待や、欧州の長期金利の上昇などを受けて円安ユーロ高が進みました。

2. 特別勘定資産の内訳 (2020年度末)

(単位：百万円、%)

区 分	日本株式型		日本株式 積極運用型		米国株式型		欧州株式型		世界株式型 (為替ヘッジなし)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
現預金・その他	1,497	4.5	135	4.1	1,176	4.0	216	4.0	190	4.3
株 式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公 社 債	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
外 国 株 式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
外 国 公 社 債	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の証券	31,505	95.5	3,162	95.9	28,453	96.0	5,183	96.0	4,267	95.7
貸 付 金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合 計	33,003	100.0	3,297	100.0	29,630	100.0	5,399	100.0	4,457	100.0

区 分	世界株式型 (為替ヘッジあり)		世界債券型		金融市場型		グローバル・ バランス型	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
現預金・その他	61	4.1	419	4.2	355	5.4	1,801	4.7
株 式	-	-	-	-	-	-	-	-
公 社 債	-	-	-	-	-	-	-	-
外 国 株 式	-	-	-	-	-	-	-	-
外 国 公 社 債	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の証券	1,435	95.9	9,487	95.8	6,296	94.6	36,865	95.3
貸 付 金	-	-	-	-	-	-	-	-
合 計	1,496	100.0	9,906	100.0	6,652	100.0	38,666	100.0

(注) 金額は百万円未満を切り捨て。構成比は小数点第2位を四捨五入。

お問合せ窓口：カスタマーサービスセンター 0120-911-999

受付時間 月～金 9:00～18:00

土 9:00～17:00 (日・祝日、12/30～1/4を除く)

3. 特別勘定の運用収支状況 (2020年度末)

(単位：百万円)

区 分	日本株式型	日本株式 積極運用型	米国株式型	欧州株式型	世界株式型 (為替ヘッジなし)
	金 額	金 額	金 額	金 額	金 額
利息配当金等収入	-	-	25	-	0
有価証券売却益	322	31	8,697	54	33
有価証券償還益	-	-	-	-	-
有価証券評価益	9,309	1,093	2,952	1,568	1,646
為 替 差 益	-	-	18	0	-
その他の収益	-	-	-	-	-
有価証券売却損	6	-	763	-	1
有価証券償還損	-	-	-	-	-
有価証券評価損	-	-	-	-	-
為 替 差 損	-	-	0	0	-
その他の費用	-	-	-	-	-
収 支 差 額	9,625	1,124	10,929	1,623	1,679

区 分	世界株式型 (為替ヘッジあり)	世界債券型	金融市場型	グローバル・ バランス型
	金 額	金 額	金 額	金 額
利息配当金等収入	0	-	-	27
有価証券売却益	2	11	-	1,781
有価証券償還益	-	-	-	-
有価証券評価益	488	342	-	7,249
為 替 差 益	-	0	-	8
その他の収益	-	-	-	-
有価証券売却損	-	4	-	45
有価証券償還損	-	-	-	-
有価証券評価損	-	24	7	-
為 替 差 損	-	0	-	1
その他の費用	-	-	-	-
収 支 差 額	491	324	△ 7	9,019

(注) 金額は百万円未満を切り捨て。

4. 保有契約高 (2020年度末 /9勘定合計)

(単位：件、百万円)

項 目	件 数	金 額
変額保険 (終身型)	47,874	437,129
変額保険 (有期型)	353	1,988
ユニット・リンク保険 (有期型)	7,771	33,782
積立ユニット・リンク保険特約	385	987
合 計	56,383	473,887

(注) 金額は百万円未満を切り捨て。

5. 特別勘定の運用状況

◀日本株式型▶ (注1)

運用実績 (2021年3月末日現在)		1年	3年	5年	設定来
	騰落率 (%) (注2)	39.84	17.63	59.92	132.67
(注) 運用開始日は1986年12月1日。					
運用方針	主に日本企業の株式に分散投資することにより、中長期的な成長を目指します。東証株価指数 (TOPIX) を上回る投資成果を目指します。				
運用経過および今後の運用方針	当勘定では、主に日本企業の株式に分散投資を行うため、当期間中における資金移動および資産規模を勘案しながら、複数の投資信託を組み合わせた運用を行いました。当該期間中、投資信託の投資比率は概ね高位を維持し、マルチ・マネージャー運用 (注3) の投資信託やバリュースタイル (注4) の投資信託を組み合わせる運用を行いました。今後も、引き続き、複数の投資信託を組み合わせた運用を行う方針ですが、組入れ投資信託については継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行う方針です。				
組入れ投資信託 (2021年3月末日現在)	ラッセル・インベストメント日本株式ファンドI-3 (適格機関投資家限定) *1, HC日本株バリュースタイルマルチマネージャーファンド (適格機関投資家専用) *1, アムンディ・ターゲット・ジャパン・ファンド (適格機関投資家専用) *1				

◀日本株式積極運用型▶

運用実績 (2021年3月末日現在)		1年	3年	5年	設定来
	騰落率 (%) (注2)	50.16	25.84	73.95	48.69
(注) 運用開始日は2001年5月1日。					
運用方針	主に日本の成長企業の株式に分散投資することにより、中長期的な成長を目指します。東証株価指数 (TOPIX) を上回る投資成果を目指します。				
運用経過および今後の運用方針	当勘定では、主に日本の成長企業の株式に分散投資を行うため、当期間中における資金移動および資産規模を勘案しながら、複数の投資信託を組み合わせた運用を行いました。当該期間中、投資信託の投資比率は概ね高位を維持し、グロース・スタイル (注5) の投資信託に投資しました。今後も、引き続き複数の投資信託を組み合わせた運用を行う方針ですが、組入れ投資信託については継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行う方針です。				
組入れ投資信託 (2021年3月末日現在)	ピクテ・ニッポン・プレミア・グロース・ファンド (適格機関投資家専用) *1, ファイデリティ・日本成長株・ファンドVA3 (適格機関投資家専用) *1				

◀米国株式型▶ (注1)

運用実績 (2021年3月末日現在)		1年	3年	5年	設定来
	騰落率 (%) (注2)	56.14	54.90	85.70	1,778.73
(注) 運用開始日は1986年12月1日。					
運用方針	主に米国企業の株式に分散投資することにより、中長期的な成長を目指します。原則として、為替ヘッジは行いません。S&P500指数を上回る投資成果を目指します。				
運用経過および今後の運用方針	当勘定では、主に米国企業の株式に分散投資を行うため、当期間中における資金移動および資産規模を勘案しながら、マルチ・マネージャー運用 (注3) の投資信託を組み入れて運用を行いました。当該期間中、投資信託の投資比率は概ね高位を維持しました。今後も、組入れ投資信託については継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行う方針です。				
組入れ投資信託 (2021年3月末日現在)	Selection US Equity Class I *2				

◀欧州株式型▶

運用実績 (2021年3月末日現在)		1年	3年	5年	設定来
	騰落率 (%) (注2)	40.67	39.72	62.92	160.08
(注) 運用開始日は1999年4月1日。					
運用方針	主に欧州企業の株式に分散投資することにより、中長期的な成長を目指します。原則として、為替ヘッジは行いません。MSCIヨーロッパ指数を上回る投資成果を目指します。				
運用経過および今後の運用方針	当勘定では、主に欧州企業の株式に分散投資を行うため、当期間中における資金移動および資産規模を勘案しながら、マルチ・マネージャー運用 (注3) の投資信託を組み入れて運用を行いました。当該期間中、投資信託の投資比率は概ね高位を維持しました。今後も、引き続き、複数の投資信託を組み合わせた運用を行う方針ですが、組入れ投資信託については継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行う方針です。				
組入れ投資信託 (2021年3月末日現在)	RICII Russell Investments Pan European Equity Fund Class B *2, ファイデリティ・欧州株・ファンド				

◀世界株式型 (為替ヘッジなし)▶

運用実績 (2021年3月末日現在)		1年	3年	5年	設定来
	騰落率 (%) (注2)	59.56	49.39	82.71	220.42
(注) 運用開始日は2001年5月1日。					
運用方針	主に世界各国の株式に分散投資することにより、中長期的な成長を目指します。原則として、為替ヘッジは行いません。MSCI KOKUSAI インデックスを上回る投資成果を目指します。				
運用経過および今後の運用方針	当勘定では、主に世界各国の株式に分散投資を行うため、当期間中における資金移動および資産規模を勘案しながら、当社が選定した世界各国の株式を主要投資対象とする投資信託を組み合わせた運用を行いました。当該期間中、投資信託の投資比率は概ね高位を維持しました。今後も、引き続き複数の投資信託を組み合わせた運用を行う方針ですが、組入れ投資信託については継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行う方針です。				
組入れ投資信託 (2021年3月末日現在)	ラッセル・インベストメント外国株式ファンドI-4B (為替ヘッジなし) (適格機関投資家限定) *1 インデックスファンド海外株式 (ヘッジなし)				

◀世界株式型 (為替ヘッジあり)▶

運用実績 (2021年3月末日現在)		1年	3年	5年	設定来
	騰落率 (%) (注2)	50.58	37.82	69.27	137.89
(注) 運用開始日は2001年5月1日。					
運用方針	主に世界各国の株式に分散投資することにより、中長期的な成長を目指します。原則として、為替ヘッジを行います。MSCI KOKUSAI インデックス (円ヘッジ) を上回る投資成果を目指します。				
運用経過および今後の運用方針	当勘定では、主に世界各国の株式に分散投資を行うため、当期間中における資金移動および資産規模を勘案しながら、当社が選定した世界各国の株式を主要投資対象とする投資信託を組み合わせた運用を行いました。当該期間中、投資信託の投資比率は概ね高位を維持しました。今後も、引き続き複数の投資信託を組み合わせた運用を行う方針ですが、組入れ投資信託については継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行う方針です。				
組入れ投資信託 (2021年3月末日現在)	ラッセル・インベストメント外国株式ファンドI-4A (為替ヘッジあり) (適格機関投資家限定) *1 インデックスファンド海外株式 (ヘッジあり)				